

【奨励賞】

「返還よりも願いを聞いて」

恵庭市立恵北中学校

2年 竹生 香翔

私は思います、返還よりも願いを聞いて。

毎年、何度も何度も見る北方領土のニュース。それは様々な内容です。例えば、元島民の高齢化が進んでいるだとか、島々がロシアの住人によって作り変えられているなどという他にも様々な内容です。

そんな中で、北方四島の元住民たちが島に訪問したというニュースをよく見ます。そんな中で、ロシア住人と日本の元島民の人たちが楽しそうに交流している映像を見たことがあります。でも本当に楽しく交流しているのでしょうか。

今でも日本はロシアに対して北方四島の返還を求めています。その理由は何でしょう。私は、日本の領土を広げることが目的だと思っています。ですが本当にそれで良いのでしょうか。私はそうは思いません。

今でも北方領土の故郷の島に戻りたいと願う元島民たちがいます。ですがそれは、年に数回というかたちでしか叶っていないのです。そして元島民たちの高齢化が進んでいます。

それなのに領土を広げることが目的にしてはこれまで通り、話は円滑に進まないでしょう。

だからこそ、元島民たちのことをもっと考えていくべきではないでしょうか。

一日でも早く自由に島の行き来ができ、住むことができるくらいになるように、せめて年に数回ではなくて何度も行けるようするためにロシアと真面目に話し合っていくべきだと私は思います。

もちろん北方領土が返還されて日本の領土が増えることも大切です。ですがそれを目的にしては多くの人々の願いが叶わなくなってしまう。なぜなら元島民の人の高齢化が進んでいってしまったからです。

だからこそ、まずは元島民たちの思いを改めて聞き、ロシアとできるだけ早く話を進めていくことが、これから必要になっていくと思います。

なので、北方四島への訪問が実現した後に、四島の返還についてロシアと話し合っていくべきだと思います。そしていつかロシアとも仲良くしていけたら良いと思います。

そしていつか近い未来に、北方四島への行き来が自由になって笑顔で本当に楽しく島に行く人たちをニュースで見られるようになり、そのまたいつかは北方領土が返還されることになったというニュースを見たいです。

そのために、これから多くの人々が協力して助け合い、前向きに北方領土について話し合っていくべきだと思います。